【Microsoft 365】Copilot 更新情報｜2026年7月

2026年09月16日

改訂履歴

版数	発行日	改訂内容
第1版	2026年08月31日	初版発行
第2版	2026年09月16日	スライド19：リリーススケジュールの表記を変更 スライド23：リリーススケジュールの表記を変更 スライド24：リリーススケジュールの削除 スライド25：リリーススケジュールの削除 スライド26：リリーススケジュールの表記を変更

本書の内容は 2026/09/16 時点のものです。製品のアップデートにより変更となる場合がある旨、ご了承ください。

Agenda

1. 前提情報
    1. 本書の目的
    2. 用語集
2. 更新情報
    1. 今月のアップデートテーマ
3. ユーザー向け機能：Copilot プラットフォームの進化
    1. Copilot チャットでのエージェントの追加
    2. Copilot アプリにおけるモデルの更新、検索機能の強化、プッシュ通知
    3. Copilot Cowork におけるモデルの更新と新しい作業方法
    4. Copilot ノートブックにおける参照機能の追加サポート
    5. Copilot コネクタの追加
4. ユーザー向け機能：Microsoft 365 アプリの Copilot 強化
    1. Copilot in Word のワークフロー
    2. Copilot in Excel の新スキルと Power BI コンテキスト
    3. Copilot in PowerPoint のブランド資産、カスタムスキル
    4. Copilot in Teams の会議要約アプリ
    5. SharePoint・OneDrive 向けのアクセスヒートマップ、AI 要約、ドキュメント作成機能
5. IT 管理者向け機能：管理・ガバナンス機能の強化
    1. Microsoft 365 管理センターの新しい制御機能とレポート

1. 前提情報

1.1. 本書の目的

目的

本書は、Microsoft から 2026 年 7 月に公開された Microsoft 365 Copilot（以降、Copilot）の新機能および機能強化の内容を整理し、その概要と利用価値を理解することを目的としています。併せて、ユーザー向け機能と IT 管理者向け機能の観点から変更点を確認し、各機能の活用方法や運用上の考慮事項を把握することで、Microsoft 365 Copilot の更なる活用促進と業務生産性向上の実現を目指します。

1.2. 用語集

本書で使用する用語及び略称を以下の通り定義します。

No.	用語	説明
1	Microsoft 365 Copilot	Microsoft 365 アプリ、Microsoft Graph、生成 AI を組み合わせて業務を支援する AI アシスタント。
2	Word	ドキュメントの作成・編集・共同作業を行う Microsoft 365 のワープロアプリケーション。
3	Excel	表計算、分析、可視化を行う Microsoft 365 のデータ管理アプリケーション。
4	PowerPoint	プレゼンテーションの作成・共有・発表を行う Microsoft 365 のプレゼンテーションアプリケーション。
5	Copilot チャット	組織データや Web 情報を活用した対話型 AI アシスタント機能。
6	GPT-5.6	OpenAI が提供する高度な推論と長文理解を備えた大規模言語モデルファミリー。
7	OpenAI	GPT シリーズおよび生成 AI 技術を開発する AI 研究開発企業。
8	Anthropic	Claude シリーズの大規模言語モデルを開発する AI 研究・開発企業。
9	大規模言語モデル（LLM）	大量のテキストデータを学習し自然言語の理解・生成を行う AI モデル。

1.2. 用語集

本書で使用する用語及び略称を以下の通り定義します。

No.	用語	説明
10	Microsoft 365 Copilot Cowork	ユーザーに代わり複数ステップの業務を実行するエージェント型作業支援機能。
11	Claude Sonnet 5	Anthropic が提供するエージェント型タスクに強みを持つ大規模言語モデル。
12	エージェント	目標達成のために計画・実行・確認を自律的に行う AI アシスタント。
13	Work IQ	Microsoft 365 内の業務コンテキストを理解し Copilot の回答精度を高める推論基盤。
14	Copilot Answers	Copilot 検索 において検索結果を要約して回答する AI 検索機能。
15	Outlook	メール、予定表、連絡先を統合管理するコミュニケーションアプリケーション。
16	Teams	チャット、会議、通話、共同作業を統合したコラボレーションプラットフォーム。
17	Claude Fable 5	長期間・複雑なプロジェクト向けに設計された Anthropic の高持続型 AI モデル。
18	Microsoft Edge	Microsoft が提供する Chromium ベースの Web ブラウザー。 ※Chromium：Google 主導で開発されるオープンソースの Web 基盤プロジェクト。

1.2. 用語集

本書で使用する用語及び略称を以下の通り定義します。

No.	用語	説明
19	SaaS	クラウド経由で提供されるサービス型ソフトウェア。
20	イベントトリガー型タスク	特定条件の発生を契機として自動実行されるタスク機能。
21	Copilot ノートブック	複数の資料を集約し、プロジェクト単位で Copilot と活用できるワークスペース機能。
22	Markdown（.md）	見出しや箇条書きを簡易記法で記述できる軽量マークアップ形式。
23	TXT（.txt）	書式情報を含まないプレーンテキスト形式。
24	RTF（.rtf）	文字装飾や書式情報を保持できるリッチテキスト形式。
25	コネクタ	外部システムのデータを Microsoft 365 や Copilot に接続する連携機能。
26	Atlassian Jira	プロジェクト・課題・開発タスク管理を行う業務プラットフォーム。
27	Confluence	ナレッジ共有やドキュメント管理を行うコラボレーションプラットフォーム。

1.2. 用語集

本書で使用する用語及び略称を以下の通り定義します。

No.	用語	説明
28	Microsoft Graph	Microsoft 365 のデータ・ユーザー・関係性を統合利用する API 基盤。 ※API：システムやアプリケーション間で機能やデータを連携するためのインターフェース。
29	ブランドキットスキル	ブランド資産を使用して Excel レポートを自動整形する Copilot スキル。
30	Microsoft 365 ブランドセンター	組織のロゴ・色・フォントを管理するブランド資産管理機能。
31	エージェントアクセスインサイトヒートマップ	エージェントによるアクセス状況を可視化する分析ダッシュボード。
32	Viva Connections	SharePoint や Teams 上の企業ポータルや社内情報を集約して提供する従業員エクスペリエンス機能。
33	Web グラウンディング	Web 検索結果を根拠情報として Copilot の応答に反映する機能。
34	Power BI	データの可視化や分析、レポート作成を行う Microsoft のビジネスインテリジェンス（BI）サービス。
35	DLP ポリシー	機密情報の漏えい防止を目的とした Microsoft Purview のデータ保護ポリシー。
36	Power Automate	業務プロセスやシステム間の処理を自動化する Microsoft のワークフローサービス。

1.2. 用語集

本書で使用する用語及び略称を以下の通り定義します。

No.	用語	説明
37	GCC	米国政府向けの Microsoft 365 Government Community Cloud 環境。
38	GCC High	米国防衛産業向けの高度な規制要件に対応した政府クラウド環境。
39	支出アラート機能	使用量ベース課金サービスの支出状況を通知する監視機能。
40	支出ポリシー	AI サービス利用時の予算や利用上限を管理するルール。
41	超過処理機能	支出上限到達時でも実行中タスクの完了を許可する例外処理機能。
42	Open-Plugin	AI アシスタントと外部システムやサービスを連携するためのオープン仕様のプラグイン形式。
43	MCP コネクタ	Model Context Protocol（MCP）を利用して AI と外部ツール・データソースを接続する連携機能。
44	スキル	Copilot がユーザーの指示に応じて、検索・要約・分析などの特定業務を実行する機能。
45	プラグイン	Copilot を外部システムやサービスと接続し、データ取得やアクション実行を可能にする連携機能。
46	カスタムスキル	組織固有の業務プロセスやデータに対応するために独自に開発・追加する拡張機能。

2. 更新情報

2.1. 今月のアップデートテーマ

本書は、こちらの記事を参考にアップデート内容をまとめております。

Microsoft 365 Copilot アップデート

Copilot プラットフォームの進化、Microsoft 365 アプリの Copilot 強化、管理・ガバナンス機能の強化

1 Copilot プラットフォームの進化

- Copilot チャットでのエージェントの追加
- Copilot アプリにおけるモデルの更新、検索機能の強化、プッシュ通知
- Copilot Cowork におけるモデルの更新と新しい作業方法
- Copilot ノートブックにおける参照機能の追加サポート
- Copilot コネクタの追加

2 Microsoft 365 アプリの Copilot 強化

- Copilot in Word のワークフロー
- Copilot in Excel の新スキルと Power BI コンテキスト
- Copilot in PowerPoint のブランド資産、カスタムスキル
- Copilot in Teams の会議要約アプリ
- SharePoint・OneDrive 向けのアクセスヒートマップ、AI 要約、ドキュメント作成機能

3 管理・ガバナンス機能の強化

- Microsoft 365 管理センターの新しい制御機能とレポート

3. ユーザー向け機能：
Copilot プラットフォームの進化

3.1. Copilot チャットでのエージェントの追加

本ページでは、ユーザー向け機能の更新である「Copilot チャットでのエージェントの追加」についてまとめています。

NEW **Word、Excel、PowerPoint のエージェントを Copilot チャットプロンプトに直接追加可能に**

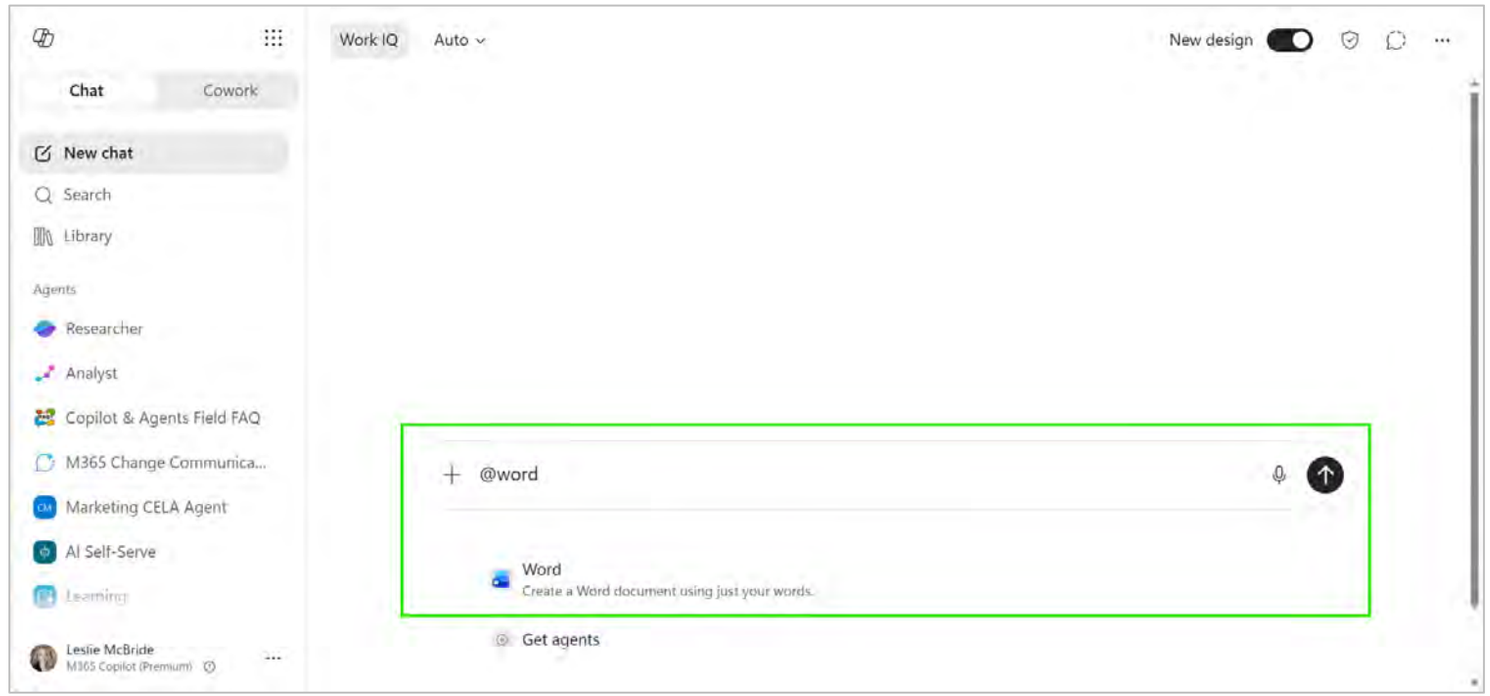
ユーザーは、Word、Excel、PowerPoint のエージェントを Copilot チャットプロンプトに直接追加できるようになりました。

流れ

1. Copilot チャットを開く
2. @ でメンションする

Word　Excel　PowerPoint

3. 要件を入力する
   例）このWordファイルの文章を添削



メリット

アプリの切り替え不要
Microsoft 365 Copilot アプリ内で完結することによる、作業中断のない効率的な業務遂行

生産性の向上
ドキュメント・スプレッドシート・プレゼンテーションの迅速な作成

3.2. Copilot アプリにおけるモデルの更新、検索機能の強化、プッシュ通知

本ページでは、ユーザー向け機能の更新である「Copilot アプリにおけるモデルの更新、検索機能の強化、プッシュ通知」についてまとめています。

NEW Microsoft 365 Copilot で GPT-5.6 モデルファミリーが利用可能に

Microsoft 365 での知識作業向けに最適化された GPT-5.6 は、複雑な複数ステップのタスクに対してより強力な推論を提供します。

GPT-5.6 による支援例

- **Word**: 初期アイデアを洗練されたドラフトに変換
- **Excel**: より深い分析に基づいて推論
- **PowerPoint**: より優れたプレゼンテーションを作成
- **Copilot チャット**: より明確な応答を生成
- **Microsoft 365 Copilot Cowork**: 一貫した成果物を完成

メリット

Copilot が知識作業の複雑さに対応できるよう支援

NEW Microsoft 365 Copilot で Claude Sonnet 5 が利用可能に

Claude Sonnet 5 は、エージェント主導の複数ステップ作業向けに設計されています。PowerPoint・Word・Microsoft 365 Copilot Cowork の Copilot で利用可能となります。

Work IQ と組み合わせることでの効果

メリット

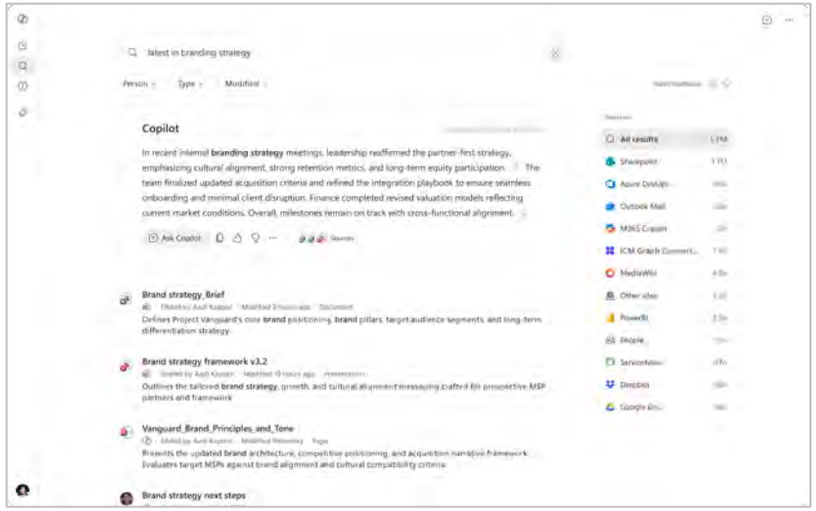
ドキュメントの作成、スプレッドシートの分析、プレゼンテーションの作成などのタスクを支援

3.2. Copilot アプリにおけるモデルの更新、検索機能の強化、プッシュ通知

本ページでは、ユーザー向け機能の更新である「Copilot アプリにおけるモデルの更新、検索機能の強化、プッシュ通知」についてまとめています。

NEW　Copilot Answers がアップデート

Copilot 検索にて、より簡潔な応答を提供するようになりました。
サイドバーでユーザーが Copilot チャットで会話を続けられることがより目立つように表示されます。



メリット

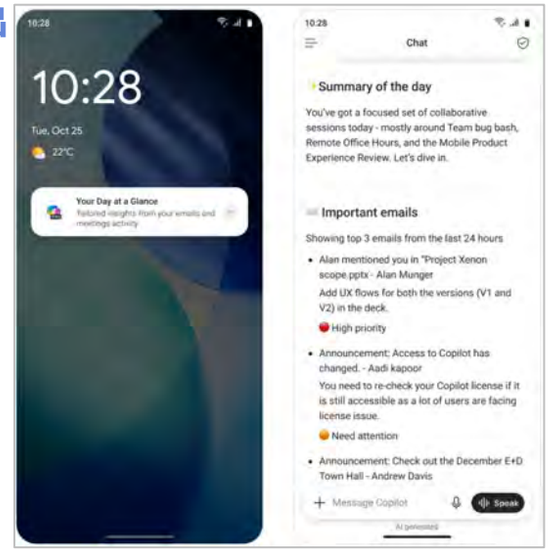
手作業を削減
アプリの切り替え不要で
作業を中断せず効率的

ユーザー体験の向上
簡潔な回答で
スムーズに利用

NEW　モバイル向けプッシュ通知が利用可能に

iOS および Android デバイスで作業項目をすばやく確認できるようになりました。Outlook、Teams、その他の Microsoft 365 アプリを手動で確認する手間が軽減されます。

1. **Copilot が作業項目を検出し、プッシュ通知で案内**
   「今日の予定」
   「保留中の項目」など
2. **通知をタップ**
   Copilot モバイルアプリが起動
3. **生成された作業項目の内容を表示**
   必要な情報をすぐに確認



この機能は、Microsoft 365 Copilot ライセンスをお持ちのユーザーのみ利用できます。

3.3. Copilot Cowork におけるモデルの更新と新しい作業方法

本ページでは、ユーザー向け機能の更新である「Copilot Cowork におけるモデルの更新と新しい作業方法」についてまとめています。

NEW Copilot Cowork で Claude Fable 5 が利用可能に

Anthropic の Claude Fable 5 が、より長く複雑な作業を支援するモデルアップデートとして、Microsoft 365 Copilot Cowork（以降、Copilot Cowork）で利用可能になりました。

- より強力で持続的な推論能力
- より深いコンテキスト処理能力
- 複数段階のタスクにわたる作業の計画、実行、チェック機能

Copilot Cowork での活用イメージ

複雑なプロジェクトや長期タスクを Copilot Cowork に委任 → Claude Fable 5 が計画を立てて実行 → 長期にわたり作業を継続し、必要に応じてチェック

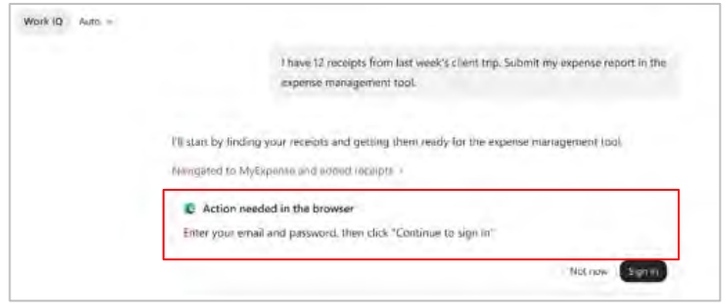
NEW Copilot Cowork の ローカルブラウザー自動化機能が利用可能に

Microsoft Edge にサインインしているユーザーは、Copilot Cowork を利用して、SaaS ツールや社内ポータルなど、日常業務で利用する Web ベースのシステムを横断して作業を行うことができます。

メリット

手動でのタブ切り替えやアプリの往復を減らし、作業時間を短縮

画面



3.3. Copilot Cowork におけるモデルの更新と新しい作業方法

本ページでは、ユーザー向け機能の更新である「Copilot Cowork におけるモデルの更新と新しい作業方法」についてまとめています。

NEW Copilot Cowork のイベントトリガー型タスクが利用可能に

Copilot Cowork のイベントトリガー型タスクは、メールや Teams の指定した条件に一致するメッセージや通知を自動で検知します。
検知後はユーザーへ通知し、返信案を自動で準備します。

対象となる場所
- Outlook メール
- Teams チャット チャネル
- 会議

トリガー条件を設定
- 送信者
- @メンション
- キーワードやトピック
- イベント名

自動で実行・通知
- 重要な瞬間を捉え、届いた瞬間に通知
- ユーザーが要求する前に返信を準備

メリット

- 受信トレイの頻繁な更新や見逃しの心配が不要
- 届いた瞬間に通知し、迅速に対応
- 返信の準備を事前に完了し、時間を節約

この機能は7月に Frontier 向けにリリースされました。

NEW Copilot Cowork のスキルとプラグインのカスタマイズが可能に

スキルとプラグインを利用して、ユーザーは Copilot Cowork を簡単にカスタマイズし、利用しているシステムへと拡張することができます。

スキルの追加

・新規作成
ガイド付きで追加可能

・スキルの追加
既存ファイル追加可能

プラグインの追加

Claude または Open-Plugin の zip ファイルは自動的に公開可能なパッケージに変換されます。また、バンドルされたスキルと MCP コネクタが含まれます。

Zip ファイル アップロード → 自動変換 → 公開可能なパッケージ

メリット

- 手動設定の削減
- 組織内の特定ユーザーと共有可能

3.4. Copilot ノートブックにおける参照機能の追加サポート

本ページでは、ユーザー向け機能の更新である「Copilot ノートブックにおける参照機能の追加サポート」についてまとめています。

NEW **Copilot ノートブック で Markdown、TXT、RTF ファイルが利用可能に**

Copilot ノートブック は、Markdown（.md）、TXT（.txt）、RTF（.rtf）ファイルをノートブックの参照ファイルとしてサポートするようになりました。

使い方のイメージ

1 ファイルを追加

Copilot ノートブック に参照ファイルとして追加

.txt .rtf

2 Copilot が理解・分析

ファイルの内容を読み取り、コンテキストを整理

Copilot

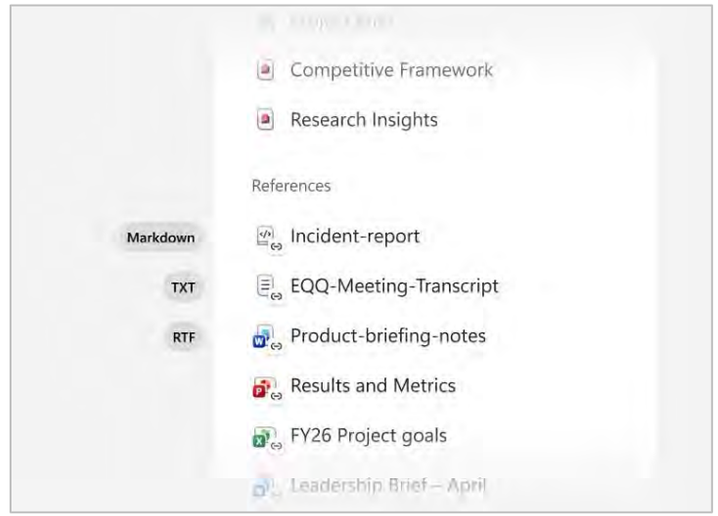
3 アイデアの生成・構築

プロジェクトのコンテキストに基づき、アイデアを生成

4 成果物に変換

要約や分析など、役立つ成果物を作成

▼ Copilot ノートブック の画面



メリット

- 役立つプロジェクト成果物に変換可能
- 多様なファイル形式をノートブックに直接追加可能

リリーススケジュール

2026 年 7 月以降

各ファイルの参照を順次展開

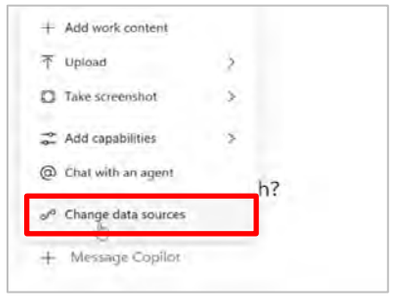
3.5. Copilot コネクタの追加

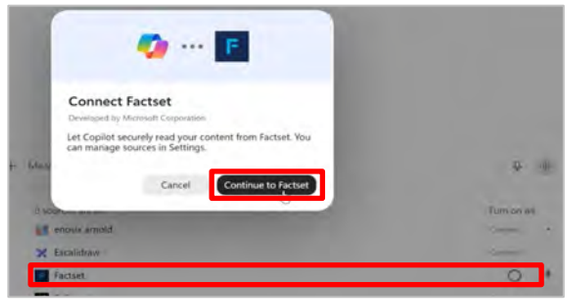
本ページでは、ユーザー向け機能の更新である「Copilot コネクタの追加」についてまとめています。

NEW アクセス権を維持したまま データソースの連携が可能に

Copilot コネクタの拡充により、業務システムのデータを Copilot から安全に活用できるようになりました。既存のアクセス権を維持したまま、各種業界のシステムデータを検索および活用できます。

流れ Copilot チャットを開き、該当のものを選び、接続する





メリット

- 金融、小売、医療、IT など幅広いデータソースを参照してより専門的な回答生成を支援
- コネクタは管理者が一元管理可能

NEW 外部システムの知識を Copilot に取り込み可能に

米国政府国防総省のクラウドを利用する組織は、Atlassian Jira や Confluence などの Microsoft 製コネクタを利用して、外部ビジネスシステムからの知識を Copilot に直接取り込むことができるようになりました。

1. **外部ビジネスシステム**
   Atlassian Jira Confluence などの Microsoft 製コネクタで外部システムを接続
2. **Microsoft 365 Copilot**
   より関連性が高く、正確で、根拠に基づいた回答
   Copilot
3. **安全な取り込みと保護**
   Microsoft Graph に安全にインデックス化
   組織の Microsoft 365 テナント境界内に保持

メリット

- システム全体を検索する時間を短縮
- 従業員の作業効率向上
- セキュリティ、プライバシー、データ所在地要件への準拠支援

4. ユーザー向け機能：

Microsoft 365 アプリの Copilot 強化

4.1. Copilot in Word のワークフロー

本ページでは、ユーザー向け機能の更新である「Copilot in Word のワークフロー」についてまとめています。

NEW Copilot in Word のレビュー ワークフローが利用可能に

Copilot in Word のレビューワークフローを利用することで、
以下のことが可能になります。

更新ポイント

- ユーザーは変更履歴の記録を有効にした状態でドキュメントを編集できるようになる
- 変更内容はデフォルトで表示される
- ユーザーは Copilot にコメントの追加、閲覧、返信、管理を依頼できる

効果

- 提案された修正内容が明確になり、レビューが容易になる
- すべての編集内容を簡単に確認して承認できる
- フィードバックを整理し、適切なコンテンツに紐付けることができる

NEW Copilot in Word のドラフト作成 ワークフローが強化

Copilot in Word のドラフト作成ワークフローを利用することで、
以下のことが可能になります。

更新ポイント

- 目次の挿入・更新ができるようになる
- ヘッダー、フッター、ページ番号、日付、脚注の管理をサポートする

効果

- ドキュメントの進化に合わせて整理された状態を維持できる
- ドキュメントの書式設定が容易になる
- ユーザーは手作業なしで洗練されたドラフトを作成できる

4.2. Copilot in Excel の新スキルと Power BI コンテキスト

本ページでは、ユーザー向け機能の更新である「Copilot in Excel の新スキルと Power BI コンテキスト」についてまとめています。

NEW Excel でブランドキットスキルが利用可能に

Microsoft 365 ブランドセンターに登録されたロゴやブランドカラーをもとに、Copilot in Excel がワークブックの書式を自動で整え、統一されたデザインのレポートを作成できます。

メリット

- 企業のブランディングガイドラインに準拠可能
- 手動書式設定作業の削減

流れ

1. ブランドキットを Microsoft 365 ブランドセンターで管理
2. ブランドキットスキルを指定または @brandkit にてメンション
3. Copilot が自動で色・フォント・ロゴを適用
4. ブランドに沿ったレポートが完成

NEW Excel でテーマデザインスキルが利用可能に

テーマデザインスキルを利用すると、ユーザーはデータに統一感のあるデザインテーマを適用できます。ユーザーは配色の調和、グラフの統一、レイアウトの構成などを指定できます。

メリット

- 重要なインサイトの視認性向上
- 整理されたレポートへの自動変換
- デザイン作業の効率化

流れ

1. @theme-design スキルをメンション
2. テーマ・カラー・レイアウトを指定
3. Copilot がシートをデザイン・仕上げ
4. 見やすく魅力的なレポートが完成

リリーススケジュール

2026 年 8 月
テーマデザインスキルは 8 月にリリースされます。
※弊社環境では未確認

4.2. Copilot in Excel の新スキルと Power BI コンテキスト

本ページでは、ユーザー向け機能の更新である「Copilot in Excel の新スキルと Power BI コンテキスト」についてまとめています。

NEW Copilot in Excel で Power BI データを活用した分析が可能に

Copilot in Excel は、管理された Power BI データに基づいて分析を実行できるようになり、その結果を Excel 上で直接活用できます。

Power BI レポートを添付

Power BI

Copilot in Excel の作業コンテンツセレクターから Power BI レポートを選択

Copilot に分析を依頼

Copilot

パフォーマンス分析、傾向の特定、Excel での要約や補助計算の作成を依頼

Excel グリッドに反映

Excel

Power BI データを直接取得し、分析結果を Excel に表示

Power BI レポートのデータを、既存のアクセス権限を維持したまま Copilot in Excel で分析可能

NEW Excel の自動保存がオフのワークブックでも Copilot が利用可能に

Copilot in Excel が、Windows と Mac で自動保存がオフになっているファイルも含め、より多くのクラウド保存済みのワークブックで利用できるようになりました。

これまで

Copilot を利用するには自動保存がオンになっている必要があり、一部のユーザーはサポートされているワークブックでも利用できませんでした。

今回のアップデート

自動保存がオフで、ワークブックに未保存の変更がある場合、Copilot が変更を開始する前に自動保存をオンにするようユーザーに通知し、保存されていない作業を保護します。

自動保存をオンにせずに Copilot の利用を続行することもできます。

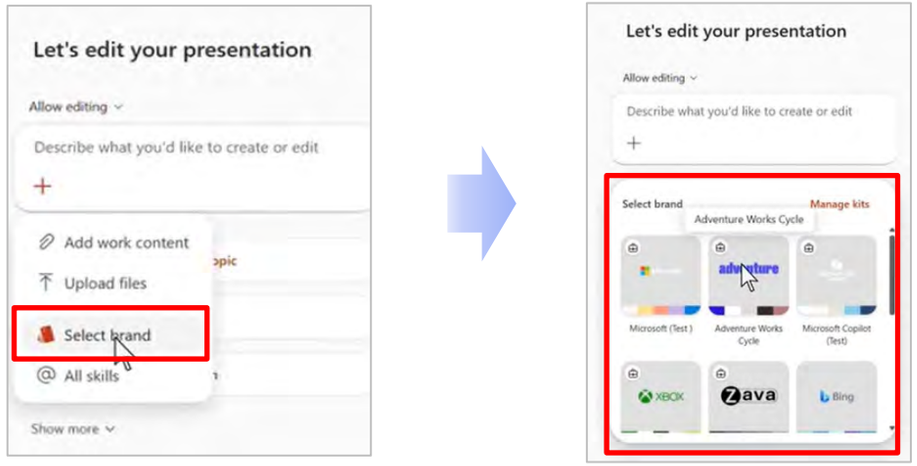
4.3. Copilot in PowerPoint のブランド資産、カスタムスキル

本ページでは、ユーザー向け機能の更新である「Copilot in PowerPoint のブランド資産、カスタムスキル」についてまとめています。

NEW Copilot in PowerPoint でブランドキットが直接利用可能に

ブランドキットに含まれるロゴ、アイコン、テーマ、フォントなどの企業ブランド資産を、Copilot in PowerPoint で直接利用できるようになりました。

流れ PowerPoint の Copilot を開き、ブランドを選択



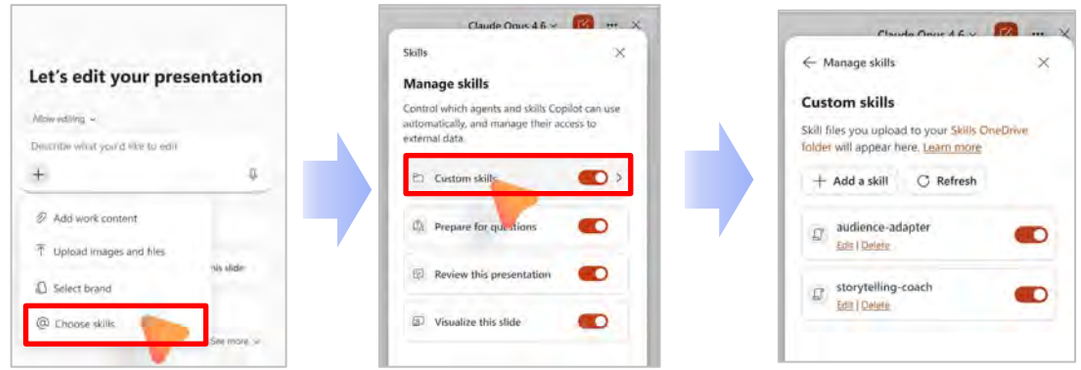
メリット

自社ブランドキットの安全な更新・展開による、企業資産全体での一貫したデザインの確保

NEW Copilot in PowerPoint でカスタムスキルが利用可能に

Copilot in PowerPoint でカスタムスキルが利用できるようになりました。部署ごとに異なる資料作成ルールやテンプレートをスキルとして登録・共有することで、組織内で一貫性のある資料を作成できます。

流れ PowerPoint の Copilot を開き、スキルを選択



メリット

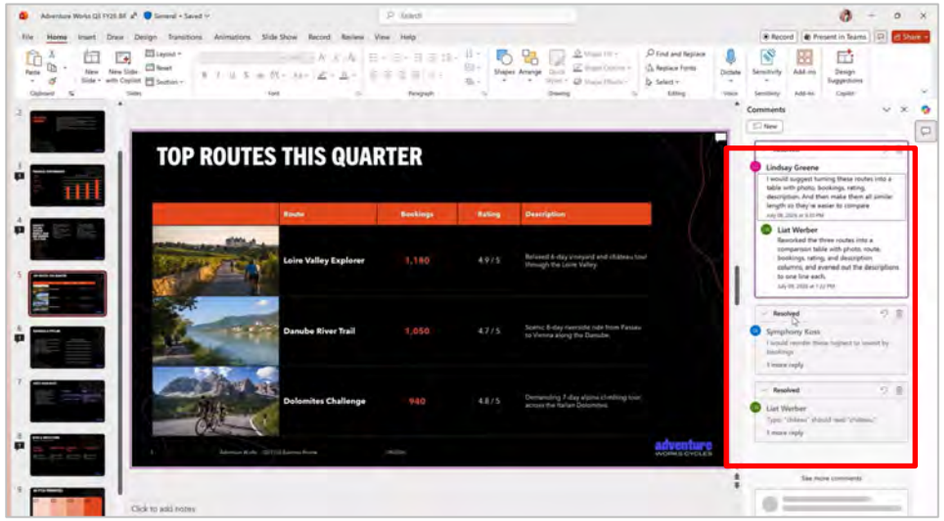
繰り返し行う指示の再利用可能なガイダンスへの変換と、プレゼンテーション作業への適用

4.3. Copilot in PowerPoint のブランド資産、カスタムスキル

本ページでは、ユーザー向け機能の更新である「Copilot in PowerPoint のブランド資産、カスタムスキル」についてまとめています。

NEW Copilot in PowerPoint でコメントの作成・返信・解決が可能に

Copilot in PowerPoint 機能により、プレゼンテーション内で直接コメントの作成、返信、解決が可能になりました。



メリット

スライドのフィードバックの整理が容易になり、レビューの進行を加速

手作業の削減によるプレゼンテーション共同作業の円滑化

NEW Copilot in PowerPoint でタスク割り当てと通知が可能に

Copilot in PowerPoint 機能を活用して、コメント内でタスクの割り当てや関係者への通知が間もなく可能になります。

流れ

コメントのフィードバック → Copilot がタスクに変換 → 適切な担当者を会話に招待・通知 → タスクが追跡され、完了へ

メリット

フィードバックからアクションへの迅速な移行と、レビュー管理の効率化

リリーススケジュール

2026 年 8 月
この機能は 8 月にリリース予定です。
※弊社環境では未確認

4.3. Copilot in PowerPoint のブランド資産、カスタムスキル

本ページでは、ユーザー向け機能の更新である「Copilot in PowerPoint のブランド資産、カスタムスキル」についてまとめています。

NEW Copilot in PowerPoint で iOS モバイルおよび iPad の主要機能が利用可能に

PowerPoint の Copilot ユーザーは、iOS モバイルおよび iPad でより多くの主要機能を利用できるようになりました。

できるようになったこと

複数ステップのアクションを計画	・作成、編集、分析などを計画
スライドや添付資料を理解して活用	・現在のスライドを理解 ・添付資料を参照して処理
バックグラウンドで Copilot が動作	・Copilot 実行中も他の作業を継続 ・アプリの切り替えが可能

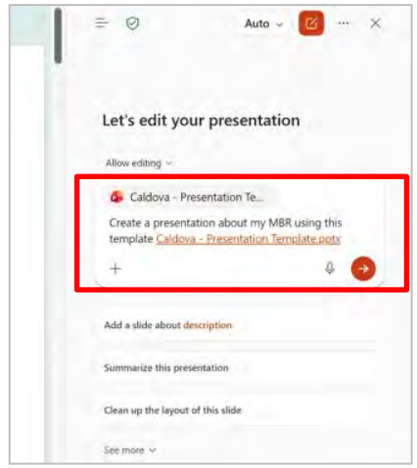
NEW Copilot in PowerPoint で 参照プレゼンテーションのデザイン適用が可能に

Copilot in PowerPoint を利用すると、ユーザーは別のプレゼンテーションを参考にして新しいプレゼンテーションを作成したり、既存のプレゼンテーションのデザインを変更したりできるようになりました。

流れ

PowerPoint の Copilot を開き、
別のプレゼンテーションを添付し
指示を出します。

こちらにも活用方法を記載しております。



メリット

- デザインの再利用で効率的に作成
- ブランドの一貫性を確保
- 再フォーマットの手間を削減

4.4. Copilot in Teams の会議要約アプリ

本ページでは、ユーザー向け機能の更新である「Copilot in Teams の会議要約アプリ」についてまとめています。

NEW

Teams で会議要約アプリが利用可能に

新しい会議要約アプリは、 AI が生成した会議要約を 1 つの便利なアプリにまとめ、Teams のサイドバーにピン留めできるため、
ユーザーは要約を簡単に見つけて内容を確認できます。

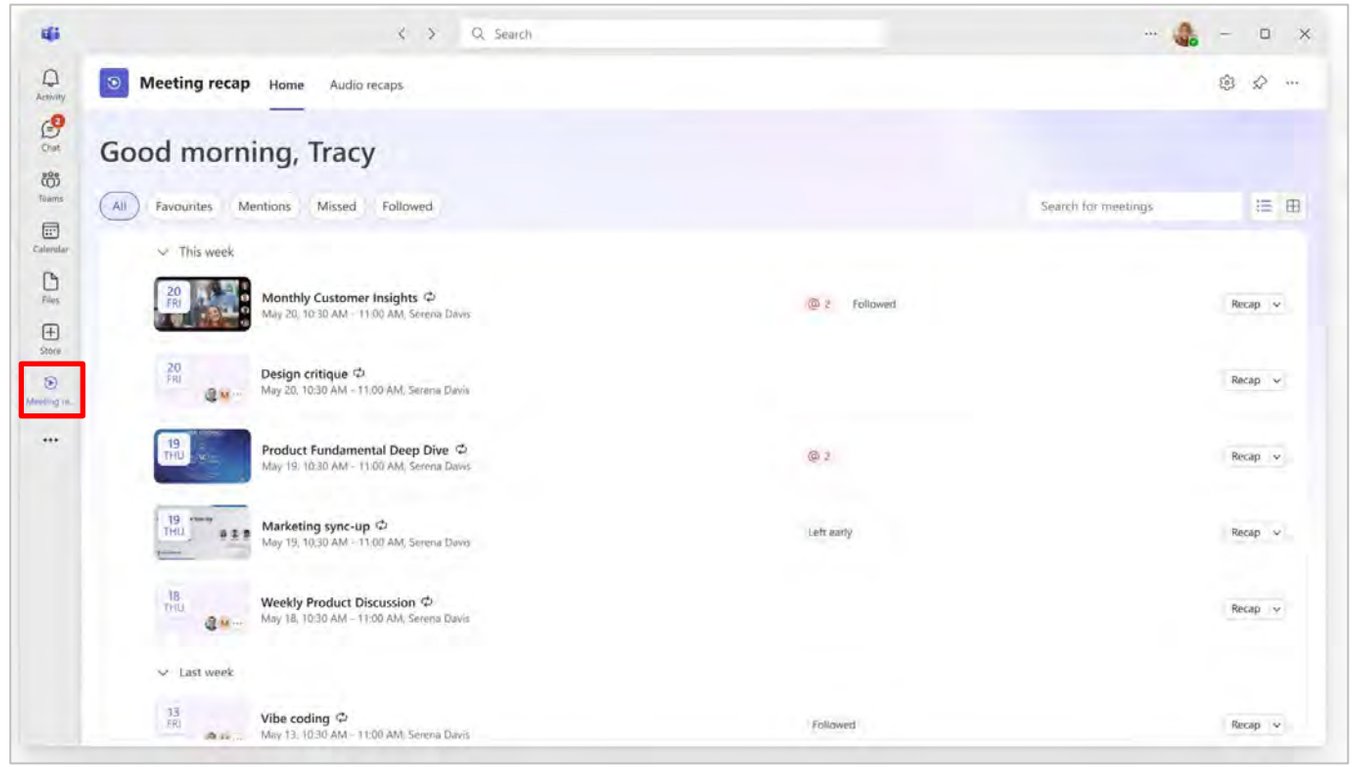
メリット

重要な会議をすぐに発見
クイックフィルターで必要な会議をすぐに表示

音声要約を作成
音声でハイライトを確認し、外出先でも効率的に把握

過去 30 日間を閲覧
過去 30 日間の会議をまとめて確認

内容を簡単に確認
要約・決定事項・アクションを効率的に把握



確認の流れ

1. Teams アプリを開く
2. 左側のナビゲーションより、[…]> [会議の要約]

4.5. SharePoint・OneDrive 向けのアクセスヒートマップ、AI 要約、ドキュメント作成機能

本ページでは、ユーザー向け機能の更新である「SharePoint・OneDrive 向けのアクセスヒートマップ、AI 要約、ドキュメント作成機能」についてまとめています。

NEW SharePoint・OneDrive のエージェント利用状況を可視化可能に

エージェントアクセスインサイトヒートマップは、SharePoint・OneDrive のコンテンツが AI エージェントや Copilot にどのように利用されているかを視覚的に把握できる新機能です。

視覚的なヒートマップ

エージェントの利用状況をヒートマップで可視化し、利用されているコンテンツを視覚的に把握

パターン・ホットスポットの検出

重要なコンテンツや活用が集中する領域を特定、異常なアクセスも素早く検出

導入・活用をサポート

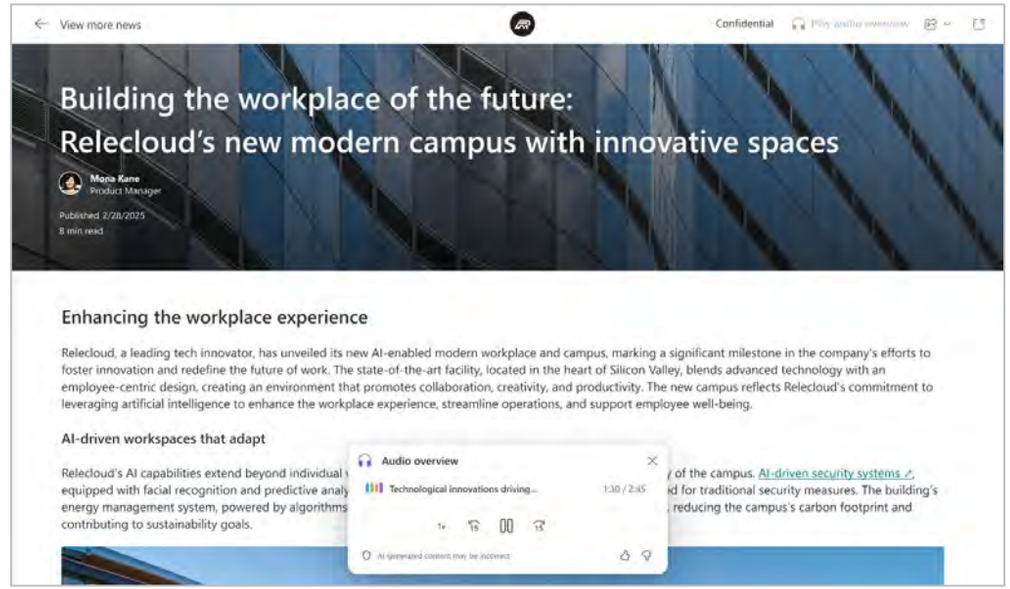
手作業を減らしてユーザー体験がスムーズになるだけでなく、IT チームは導入と活用をより明確にサポートできるようになる

確認の流れ

1. SharePoint 管理センター
2. [レポート]>[Agent insights]>[エージェント アクセス]

NEW Viva Connections で SharePoint ニュースの音声要約が利用可能に

ユーザーは、Teams 用 SharePoint アプリ(Viva Connections) で、SharePoint ニュース投稿の AI 生成音声要約にアクセスできます。



メリット

ニュース更新情報の効率的な把握と、業務を中断しない最新情報の取得

4.5. SharePoint・OneDrive 向けのアクセスヒートマップ、AI 要約、ドキュメント作成機能

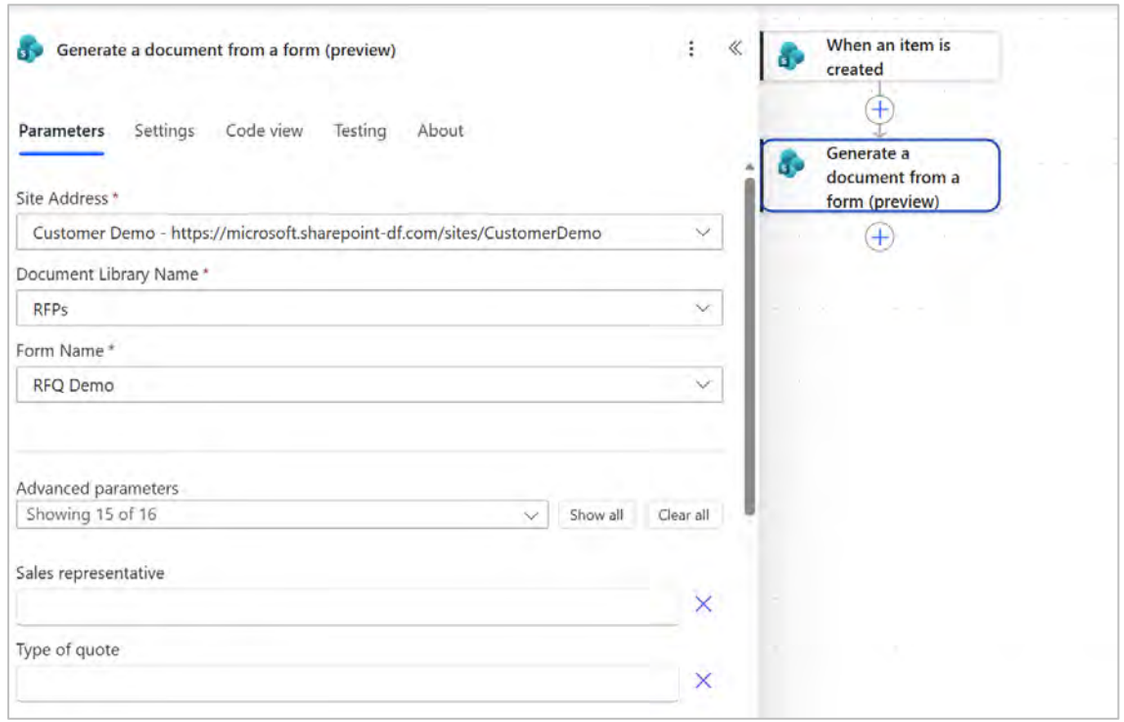
本ページでは、ユーザー向け機能の更新である「SharePoint・OneDrive 向けのアクセスヒートマップ、AI 要約、ドキュメント作成機能」についてまとめています。

NEW **Power Automate で SharePoint フォームからドキュメント生成が可能に**

Power Automate を利用して、SharePoint のフォームからドキュメントを生成できるようになりました。

仕組みとフロー

1. **SharePoint のフォームに入力**
   ユーザーがフォームに必要な情報を入力します。
2. **Power Automate がフローを開始**
   新しいフォームの送信をトリガーにフローが開始されます。
3. **テンプレートにデータをマッピング**
   入力データをテンプレートのフィールドにマッピングします。
4. **ドキュメントを自動生成**
   テンプレートからドキュメントを自動生成します。



5. IT 管理者向け機能：
管理・ガバナンス機能の強化

5.1. Microsoft 365 管理センターの新しい制御機能とレポート

本ページでは、IT 管理者向け機能の更新である「Microsoft 365 管理センターの新しい制御機能とレポート」についてまとめています。

NEW Web グラウンディングの参照ドメイン除外が可能に

Web グラウンディングのドメイン除外機能により、組織は最大 1,000 個の指定ドメインを Copilot の Web グラウンディング検索結果から除外できます。

フロー

1. **除外ドメインを設定**
   最大1000個のドメイン指定
2. **Copilot が検索実行**
   Copilot
   指定したドメインを除外して検索
3. **信頼できる結果を提供**
   不要な情報やコンプライアンス違反のリスクを低減

メリット

- 不要なソースの影響を低減
- コンプライアンス違反の影響を低減
- Web グラウンディングで取得されたコンテンツをより詳細に監視

NEW Copilot の外部メール参照制御が可能に

外部メールの参照を制限するデータ損失防止機能（DLP ポリシー）により、組織は Copilot の応答でメールデータがどのように利用されるかをより詳細に制御できるようになります。

フロー

1. **外部メールを受信**
   外部送信者からのメール
2. **DLP ポリシーで参照を制限**
   要約・参照・基礎データとして使用しない
3. **安全で信頼性の高い応答を生成**
   組織のデータ保護とコンプライアンスを強化

メリット

- 外部送信者からのメッセージの要約・参照・基礎データ利用の防止

手順

1. Microsoft Purview 管理センターにサインイン
2. 左側のナビゲーションより[データ損失防止]をクリック
3. [ポリシー]> [ポリシーの作成]をクリック

5.1. Microsoft 365 管理センターの新しい制御機能とレポート

本ページでは、IT 管理者向け機能の更新である「Microsoft 365 管理センターの新しい制御機能とレポート」についてまとめています。

NEW Insights の Agent 365 ダッシュボードが利用可能に

Insights の Agent 365 ダッシュボードは、チームリーダーやマネージャーがチームのエージェントの利用状況と導入状況を追跡するのに役立ちます。

導入状況の把握
グループごとの導入状況を表示

利用傾向の比較
さまざまなソースやエージェントの種類を比較

定着率の追跡
継続的な利用状況を監視

ドリルダウンで深掘り
個々のエージェントの詳細な利用状況を分析

上位エージェントの特定
利用頻度の高いエージェントを確認

Copilot Studio エージェントの履歴レポートも利用可能
同じダッシュボードのトグルで切り替え

NEW Copilot コネクタの利用状況レポートが利用可能に

Copilot コネクタの利用状況レポートが、Microsoft 365 管理センターでパブリックプレビューとして利用可能になりました。

利用シーン
- Copilot チャット
- Copilot 検索
- エージェント

コネクタからのコンテンツに基づく応答

利用状況をレポート化

確認できること

- コネクタの導入状況
- コネクタ別のインパクト評価
- エンゲージメント
- 利用パターンの分析

手順

1. Microsoft 365 管理センターにサインイン
2. 左側のナビゲーションより[レポート]> [利用状況]をクリック
3. [Microsoft 365 Copilot]> [コネクタ]をクリック

5.1. Microsoft 365 管理センターの新しい制御機能とレポート

本ページでは、IT 管理者向け機能の更新である「Microsoft 365 管理センターの新しい制御機能とレポート」についてまとめています。

NEW Copilot チャット 利用状況レポートが利用可能に

GCC、GCC High、国防総省のお客様向けの Copilot チャット利用状況レポートが Microsoft 365 管理センターで利用可能になりました。

メリット

導入状況を把握・促進
Copilot チャットの導入状況を把握し、導入を促進する

組織レベルの可視化
利用状況を表示して傾向を追跡

ライセンス決定を支援
ユーザーレベルの詳細を表示して Microsoft 365 Copilot のライセンスに関する意思決定に役立てる

レポートに含まれる内容

アクティブユーザーの総数
Copilot チャットを利用したユーザー数を把握

Microsoft 365 アプリごとの Copilot チャットの利用状況
Word Excel PowerPoint
各アプリでの利用傾向を可視化

ユーザーレベルのアクティビティ
(既定で匿名化)
ユーザーごとの利用状況を確認

NEW Copilot 利用コスト管理機能がアップデート

Microsoft 365 管理センターのコスト管理機能のアップデートにより、より信頼性の高いアラート、より明確なポリシー適用、超過料金の処理改善、 Copilot クレジットの可視性の向上を通じて、従量課金制サービスにおける支出管理が強化されます。

主なアップデート内容

支出アラート機能の改善
支出がポリシーのしきい値に近づいた際に、最新情報を把握し迅速に対応できるようになります。

支出ポリシーのロジックをより明確に
複数の支出ポリシーが適用される場合、ユーザーごとの上限が最も高いポリシーに常に従うようになります。上限に達した場合でも、他のポリシーに移行することはありません。

超過処理機能
支出ポリシーの上限に達したユーザーは、超過料金が発生することなく作業を完了できます。超過料金は請求されず、コスト管理レポートにも消費されたクレジットとして表示されません。